

食べ物如果没有 子どもたちは 飢え死に

飢えによる死の支配を
断ち切ることはできるか？



ラブ・ボックス

お申し込み締め切りは10月10日(月)
詳細は同封の申込書またはネットから ⇒

今月の引き落とし日！

9月16日(金)です。ご確認ください！



今月号の目次

P2…飢えを断ち切ることはできるか
／ラブ・ボックスご案内

P3…ビル・ウィルソン師メッセージ
／祈りのお願い！

P4…日本事務所からのお知らせ

飢えを断ち切ることはできるか

あなたの愛と思いやりが、空腹を満たしています！

子どもたちが必死に空腹を我慢しているとき、他のことはどうでもよくなります。飢えに苦しむ小さな男の子や女の子は、人身売買業者の餌食となり、わずかな食べ物に釣られ、ひどい仕打ちを受けることもあります。



フィリピンのバンドック地区で日曜学校を開催していた時、アントニオは食事が調理される匂いを嗅ぎつけました。彼はとてもお腹が空いていたので、何だろうかと思って、小屋のような家から様子を見に降りてきました。アントニオは、近くにある巨大なゴミ捨て場に住んでいます。そこは元々ゴミの山で、トタンや段ボール、プラスチックの破片で作られた小

さな小屋が建っています。そこに住む他の何百もの家族と同様に、アントニオの家族も絶望的に貧しいので、私たちが道端教会学校の最後に提供するような温かい食事は、滅多にお目にかかれない特別なごちそうなのです。

アントニオは、今まで日曜学校に参加したことがなかったの

で、最初は周囲を歩いて見ていただけでした。スタッフのレベッカがアントニオに席を勧めると、彼はおそるおそる腰を下ろしました。食べ物の匂いに釣られてやってきたので、お腹が空いていることは明らかでした。しかし、他の子どもたちがお椀を手にして食事をもらう列に並び始めたのを見て、寂しそうな表情を浮かべました。レベッカが、どうしたのか尋ねると、彼は地面のゴミを見回しながら、「ごはんを入れる器がないんだ」と言いました。



レベッカは彼に待つように伝え、しばらくして戻ってくると、熱いご飯と鶏のモモの唐揚げがいっぱいに入った器をアントニオに手渡しました。彼には、信じられないことでした！ アントニオは、すごい宝物をもらったかのように微笑んで、その簡素な食事を楽しむために立ち去りました。それ以来、彼は日曜学校に通い、イエス様の愛と誠実さについて学ぶことができています。

インフレと食糧不足が、世界中のメトロの給食活動に多大な影響を与えているため、これまで以上に皆様のご支援が必要となっています。アントニオのような子どもたちに、フィリピンはじめ各国で食事を提供し続けることができるように、どうかご支援をお願いします。



その日を生きるのに必死なところに

感謝祭の祝日なんてありません

ラブ・ボックス
1セット5,600円
10月10日〆切

アメリカでは、11月下旬に感謝祭を祝うために家族みんなで集まります。しかし、ニューヨークで私たちが関わっている何千人もの子どもたちの家には、1週間もお祝いする食料なんてほとんどないので、それはまったく違った日になるでしょう。あなたのような思いやりのあるスポンサーが、この子どもたちとその家族を祝福するために、感謝祭のごちそうがいっぱい詰まった恒例のラブ・ボックスを提供するというシンプルな活動にご参加いただければ、そのような子どもたちに神の愛を示すことができます。



今年の感謝祭に、ラブ・ボックスと七面鳥を提供するために、プレゼントをご検討ください！

※メトロレポートでは、プライバシー保護のため、氏名と写真は本人と無関係なものを使用しております。



3つの世界の戦い

私は長い間、2つの全く異なる世界に生きてきました。1つは、果てしない貧困と絶望、頻繁に起こる無意味で早すぎる死によって特徴づけられる、

つまり、ご想像通り貧困地域の子どもたちの住む世界。2つめは、第1の世界の現状を伝えようと私がメッセージをして回ってきた世界です。そして今、ここに第3の世界が加わりました。この3つの世界をкаいつまんでご説明します。

第1の世界：現在のウクライナをはじめとする世界

先月のマレーシアツアー中にも、米軍から再度電話がありました。ウクライナの兵士とその家族を助けるために、できるだけ早くウクライナに戻ってほしいということでした。彼らが今対処しているのは、非常に恐ろしい状況です。いつか、あなたにもお話しする機会があるかもしれません。同時に私は、2回目のウクライナの救出作戦で、ワルシャワの病院に連れて行ったあの少女がどうなったか、必死で調べていました。彼女は5人のロシア兵に母親の目の前でレイプされたのです。ようやく消息が分かりました。悲しいことに、病院は負傷したウクライナ兵の治療で手一杯で、その女の子はただ治療の順番を待つしかありませんでした。彼女は待って、待って、3週間前に亡くなるまで待ち続けたのです。病院で別れ際に私に手を振って別れを惜しむ彼女の姿が、ずっと頭の中に焼き付いています。もっと何かしてあげられたのでは…と自問自答しています。少なくとも彼女がある程度回復するまで、一緒にいるべきだったかもしれない…。ウクライナに残ればよかったのかもしれない…そうすればよかった…。その知らせを受けてから数時間後、私は日曜礼拝での説教で、世界中で活動している地域の子どもたちの現状と必要を伝えなければなりません。個人的には、とてもそのような心境ではありませんでしたが、誰も今何が起きているのか知らないのですから。私はよく、「自らのコミットメントは自分の感情より強くなければならない」と話していますが、神の恵みによってのみそれができる、それが私の長い間生きてきた第1の世界です。

第2の世界：先月はアジア・ツアーでした

先月中旬までの6週間は、シンガポールとマレーシアでアジア・ツアーを行ってきました。各都市の教会で説教をし、スポンサーの皆さんと直接お会いして、誠実なご支援に感謝し、そして、より多くの子どもたちにスポンサーになってもらえるよう、努力しています！世界各地にいる友人やスポンサーと直接顔を合わせて感謝の気持ちを伝えることは、私にとってとても大切なことです。私は、皆さんの協力なしには、なすべきことをすることができず、メトロが世界中の日曜学校で毎週25万人以上の子どもたちにメッセージを届けることができないことを十分承知しています。だからこそ私は、できるだけ多く支援者のいる国や地域を回ります。とても大切なことです。これが第2の世界です。では、第3の世界とは何でしょうか？

第3の世界：開かれたアフリカの新しい4ヶ国

メトロが日曜学校を開始するアフリカの4つの新しい国、これは、神が私たちのために開いてくださった奇跡の扉です。キリスト教以外の機関が、私たちのようなキリスト教団体に門戸を開いて、自国の子どもたちを助けるという話は聞いたことがありません。これが今、メトロで急速に起きています。主を讃美します！そのため、私はこれら4ヶ国のビジョンと必要を確認し、日曜学校をできるだけ早く開始できるように支援を募っています。私たち全員が、100年前には起こり得なかった伝道の新しい世界への扉を通ろうとしています。4ヶ国で立て続けに動きを始めるのは容易ではないことを承知していますが、このような扉はいつまでも開いているわけではありません。できるだけ早くこの扉を通り、まったく異なる世界に住むこの子どもたちに福音を伝えなければなりません。

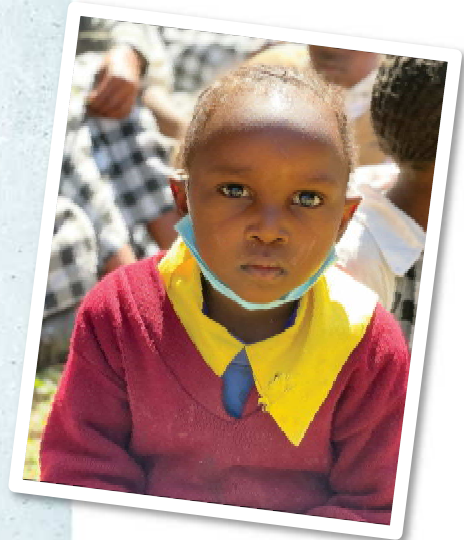
あなたがどの世界にいるにせよ、私たちは皆同じ、極めて重要な戦いを戦っているのだということを思い出してください。防弾チョッキや食べ物を配給したり、牧師や人々の助け、愛やサポートに感謝したり、手遅れになる前に一人でも多くの子どもに福音を伝えたり、あなたがこのメトロの世界の一部として関わってくださることに感謝しています。そして、この3つの世界での、そして3つの世界からの物語は、この50年間そうであったように、これからも続きます。

ビル・ウィルソン

あなたの祈りが変化をもたらす！

—— 私たちの祈りに加わってください ——

- ・インフレ、極度の貧困、飢餓の影響を受けている世界中の子どもたち、家族、宣教師たちの健康と安全のために。
- ・食料、住居、両親の仕事など、基本的な必要が満たされるように。
- ・ビル牧師が力を与えられ、言葉に油注ぎがあり、安全に旅することができるよう。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ プレゼントの価格に注意！

急激な円安が続いており、やむを得ずプレゼントの金額を毎月設定し直しています。皆様のご負担が増えないようにと願っていますが、日本事務所で差額を負担できない状況になっていますので、ご了承ください。円の状況に応じて価格を変更させていただいています。

現在また、円安に動いておりますので、どうぞ以前の状況に戻るようお祈りください。円が大幅に回復しましたら、また価格を下げさせていただきます。

年末に向けて、ケニアの学用品や、各国のクリスマスなどがありますが、その都度円の動向を確認してから金額をご連絡申し上げます。

！ 違いを生み出す月曜日！

レポートの中でもご紹介した通り、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくをお願いいたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを発案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

紹介＆申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



手紙の翻訳について

子どもからの手紙などの翻訳を毎回ご希望の場合は、日本事務所にお知らせください。次回からは日本語か韓国語訳を同封してお送りします。

毎回翻訳をお送りしはじめてから「子どもの状況がより詳しくわかるようになってよかった」というお喜びの声もいただいています。

また、子どもへの誕生日カードや手紙なども、日本事務所で英訳いたします。日本語の手紙を以下の青枠内の日本事務所までお送りください。

翻訳のご奉仕者も与えられていますので、ご遠慮なさらずお送りください。

なお、取り扱いが中止されていたケニア宛の郵便物も、取り扱いが再開されました。

日本事務所よりごあいさつ！

記録的な猛暑も、朝晩のちょっとした空気の中に、落ち着きを感じる頃になりました。皆さんの健康と生活は守られているでしょうか。

日本政府もコロナ後の体制に早く移行したいと動き始めていますが、コロナ・フォビアから脱却できない人々も数多くいて、日本でのコロナ後の生活の見通しが立たず、世界から大きく後れを取っています。

皆様の健康が守られ、生活や周りの状況が一刻も早く整えられ、以前通りにお目にかかってセミナーを開催し、現地ツアーも再開できるように願っています。

感謝祭の話題が出る頃になりました。全知全能のまことの神の御業が皆様の生活の上に豊かに現われ、秋に向かう日々が、勝利の毎日となりますようにとお祈りしています。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛をお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン